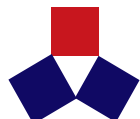


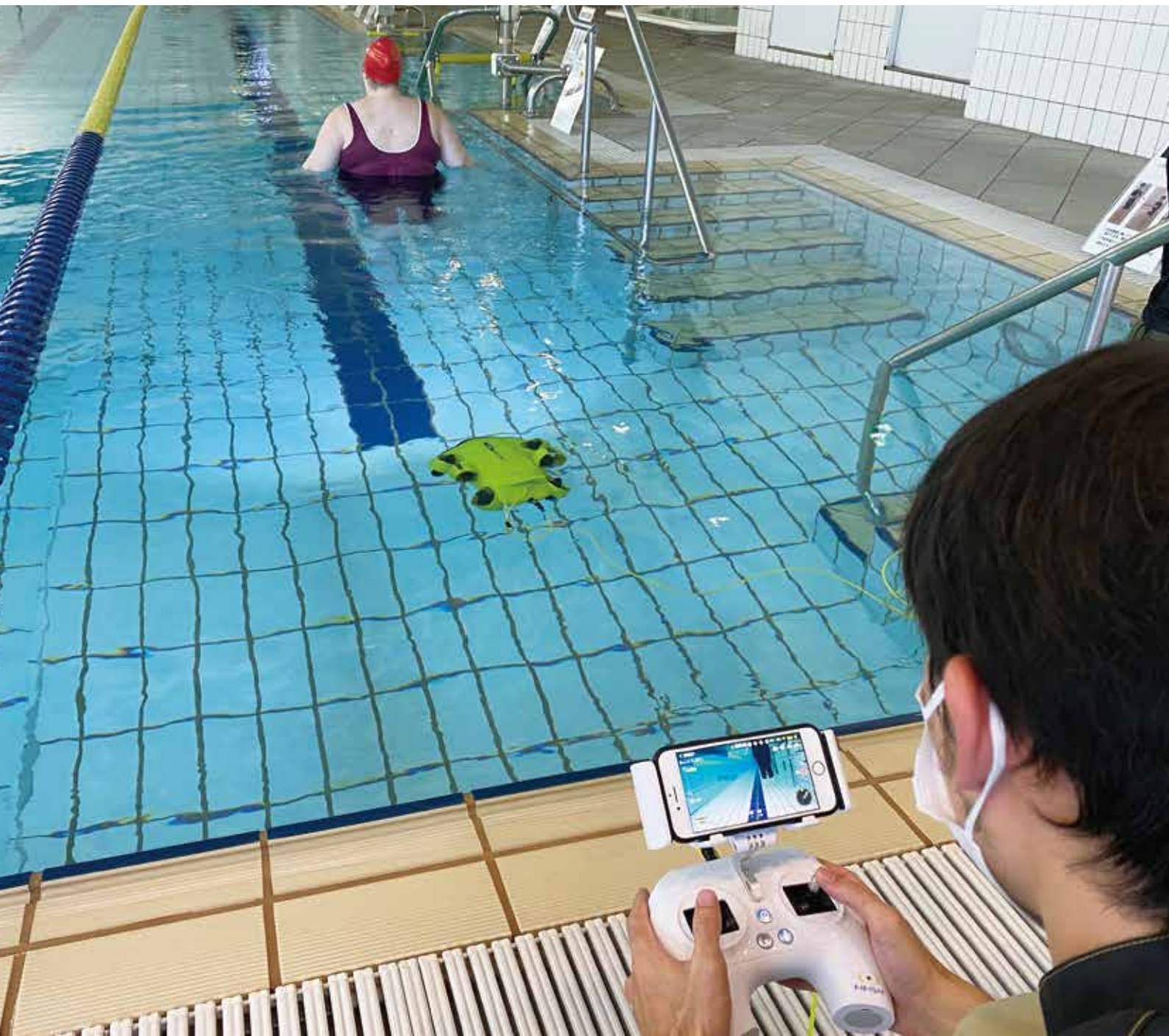
広報誌



Miyake Medical Institute Group

一般財団法人三宅医学研究所

みやけ通信



vol. 71 2021.10

特集 | パーキンソン病の短期集中リハビリテーション
〈三宅リハビリテーション病院〉

連載 vol.33 サラマンダーをのぞいてみよう! 〈健康増進施設サラマンダー〉
質の高いリハビリを提供するために PDCA+S〈通所事業課〉
目指せ!!スマートケアマネジャー〈ケアプランセンターみやけ〉

患者様が、その人らしい暮らしの場に帰れるように、当院ではパーキンソン病の治療として、薬物療法とリハビリテーションに取り組んでいます。パーキンソン病をよく知る医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・歯科衛生士・薬剤師・管理栄養士・ソーシャルワーカーなど様々な職種のスタッフがチームケアを推進しています。

また、退院後、再発・重度化を予防し、安定的に在宅での生活を継続するために、当院の「入院リハビリテーション課」と「生活期リハビリテーション課」でお互いの強みを生かしながら、連携して入院から生活期まで切れ目のないサービスを提供・支援を行います。



外来診察

まずは当院の脳神経内科医の診察を受診していただきます



コース決定

コースは、外来リハビリ・入院14日コース・入院28日コースになります



退院

退院後に必要な支援が切れ目なく提供できるように一緒に考えます



集中リハビリテーション

当院のパーキンソン病のチームケアでしっかりサポートします



リハビリテーションは急性期・回復期ともに365日同じ体制で提供しています



脳神経内科医 池田

パーキンソン病の患者様が生き生きと生活を続けるためには、病気のことをよく理解し、ご本人様やご家族様が治療に参加することが重要です。体の動きを改善するためには病状に合った薬をきちんと服用し、さらにリハビリで実際に運動することがとても大切です。当院では、多職種がパーキンソン病診療チームを形成し、皆様が安心して生活し、楽しくリハビリが続けられるような医療の提供を目指しています。

多彩なメニューで楽しく、充実したリハビリを

当院では、パーキンソン病のための短期集中リハビリテーションに取り組みながら、常に新しいリハビリメニューにチャレンジしています。



LSVT®LOUD

はっきりと聞き取れる声を

LSVT®LOUDは、声の大きさに焦点をあてた訓練法で、効果に関するエビデンス(根拠)が高いと認められた手法です。パーキンソン病の診療ガイドライン2018にも紹介されており、24ヶ月効果を有するとの報告もあります。



LSVT®BIG

大きく自信のある動きへ

LSVT®BIGの特徴的な点は、動作の速さよりも「動作の大きさ」の改善に焦点を当てていることです。LSVT®LOUDとともに、パーキンソン病の診療ガイドライン2018でも有効なリハビリテーションとして位置づけられています。



ボクササイズ

動きの中で柔軟性を

サンドバックやミット打ちを行うことで、動きを通して柔軟性を高め、身体の自然な動きを目指します。ステップの動作を組み合わせることで、後方への転倒防止や方向転換動作の改善を図ります。



水中運動

水の効果を利用して全身運動

水の抵抗を利用し、身体が安定した環境でより大きい動きを促します。リラクゼーション効果も高いため筋緊張を和らげる効果も期待できます。水中の動きは専用のドローンを使用して撮影しており、ご自身の動きを確認しながらリハビリを進めることができます。

パーキンソン病の患者様に対する運動療法は様々な種類があります。患者様によって症状は異なり、同じ患者様でも発症からの経過によって身体状況は変化していきます。そのような状況で、症状に応じた適切なリハビリテーションを提供するためには、私達セラピストが選択肢を多く持っておく必要があると考えています。

当院では、一般的な運動療法だけでなく、LSVT®やボクササイズ、水中運動、ICTを活用したリハビリなどの新しい治療方法を積極的に取り入れています。また、質の高いリハビリテーションを提供するため、資格取得を積極的に進めています。患者様がパーキンソン病とうまく付き合っていくための手段の一つとして、当院の短期集中リハビリテーションプログラムを選んで頂けるよう今後も努力してまいります。

(入院リハビリテーション課課長 新池 友希)

サラマダー

をのそいてみよう!

Vol.33

水 中 運 動 の す す め



プールで
安心フィットネス



動画視聴はコチラから↑



見学・体験
からでもOK!!

新規会員募集中!!

☎087-863-3377

までお気軽にお電話ください。(要予約)

水中運動は関節疾患がある方はもちろんのこと、リウマチや喘息・肺気腫などの呼吸機能改善、高血圧や糖尿病などの生活習慣病の予防や改善にも効果があるといわれています。また、全身を使った有酸素運動のためダイエットにもオススメです。

メインプール | 20m×3コース
水深：約110~155cm



流水プール | 流速：最大1.5m/s
水深：約100cm



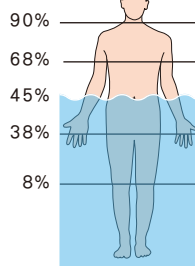
プールの4つの特徴

point ①

浮力

足腰のリハビリに最適

腰まで浸かると
体重の負荷は
約半分



水に深く浸かるほど体重の負荷が少なくなり、関節を楽に動かせます。骨折後のリハビリや関節痛がある方でも大きな動作が可能で無理なく運動が行えます。

point ②

水圧

血液循環の促進

水圧によって手足の静脈が圧迫されると、血液循環が促進され心臓に戻る血液量が増加します。疲労物質を多く含む静脈の血液がより早く循環することで疲労回復の効果が期待できるとともに、全身の血液循環バランスが変わることで血管が拡張し血圧が低下します。

point ③

抵抗

筋肉へ安全に負荷をかける

水中で陸上と同じ運動を同じ速度で行った場合、陸上と比べ約800倍の抵抗がかかります。この抵抗は速く動くほど強くなるため、個人の能力以上の負荷がかからず、お一人お一人に合わせた負荷で全身の筋肉を安全に鍛えることができます。

point ④

水温

精神的リラックス 脂肪燃焼

体温よりも低い水温では体温調節機能が働きます。血液の循環作用により体温を上げようとするため脂肪燃焼にも繋がります。温浴(ジャグジー)は血流を促進し筋疲労を取り除き、リラクゼーション効果が高まると言われています。

例

目標やお身体の状態に合わせてプログラムを作成しています。その一部を紹介します。

step ①

ウォーミングアップ
(ストレッチ)



step ②

有酸素運動
(水中歩行)



step ③

筋力強化
(流水プール)



step ④

リラクゼーション
(ジャグジー)



マスク
着用



来館時
の検温



手洗い



消毒

感染対策実施中

※スタッフもマスク着用・検温・手洗い・消毒等
感染対策に取り組んでいます

質の高いリハビリを提供するために

PDCA+S

通所リハビリテーションは、ご利用様がより自立した日常生活を送れるよう支援することを目的としています。

当通所では医療専門スタッフが、お一人お一人に合わせた理学療法・作業療法・言語療法・口腔ケア・栄養指導など必要なリハビリ計画を立て、ご利用者の心身機能の維持・向上によって生活の質を高めるようサービスを提供しています。

今回は、当通所リハビリテーションの流れをご紹介します。

調査 Survey

ケアマネージャーが計画した支援の方針や目標・課題などの情報収集
ご自宅を訪問し、実際の生活状況やリハビリ終了後に行いたい社会参加などをご家族とも共有します。



改善 Action

評価によって明らかになった改善すべき点に対して、リハビリ計画を見直します。



計画 Plan

担当者会議やリハビリ会議を通じて解決すべき課題をチームで共有し、目標設定および治療プログラムを立案します。



評価 Check

医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士、看護師、歯科衛生士、管理栄養士が3ヶ月ごとに身体機能・日常生活動作評価、カンファレンスを行います。
歩行分析によって歩行補助具や手すりなどの福祉用具を選定し、提案します。
前回の評価結果と比較し、動画やオルフェトラック（解析システム）等を使用してフィードバックを行います。



▲オルフェトラックの評価画面

PDCA+S

実行 Do

- ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による個別リハビリの実施
- ・目的や身体状況に合わせた、自主トレーニングの実施
- ・歯科衛生士による口腔ケア
- ・管理栄養士による栄養指導の実施



ご利用者の悩みは様々です。
スタッフ全員でその悩みを解消するために連携して皆様を支援していきます。
お困りのことがございましたらスタッフまでお気軽にご相談ください。

目指せ!!スマートケアマネジャー

ケアプランセンターみやけ

介護ソフト
ワイズマンで連携しませんか

Line worksの活用
連携をしませんか

詳しくはこちら↓



コロナ禍でも安心

病院の話し合いに自宅で
ZOOMをつないで参加。
ご家族様もご本人の姿が
確認できて安心!!

サステナブルな社会へ

他事業所へデータでお
渡し。
郵送料100%削減!!
紙を約70%削減!!

業務効率の改善

タブレット端末を持ち運
び、その場で入力。音声
入力もできる!!

重要書類もデータ管理

書類はPDFに、保険者証
や自宅写真も全てデー
タ管理。
管理しやすい!!

「書類作成や記録入力の時間を減らして、もっと利用者様と関われる時間や支援について考えたり話し合う時間を増やしたい。」という想いで介護ソフトを変更することにしました。導入後、業務効率が改善されたことで、栄養改善、災害時支援など幅広い視野で利用者様の生活を考える時間が少しずつ取れるようになりました。今後もでき、ケアプランセンターみやけならではの支援を目指していきます。このような取り組みに興味のあるケアマネジャーさんを募集しておりますので、お気軽にご連絡ください。(TEL:087-832-5630)



Miyake Medical Institute Group

みやけ通信

企画・発行

一般財団法人 三宅医学研究所 広報委員会

〒760-0018 高松市天神前5-5

TEL : 087-831-2101 FAX : 087-835-1886

MAIL : zaidan@miyake.or.jp



home page



病院
facebook



セントラル
facebook



てふてふ
facebook

一般財団法人三宅医学研究所

- 三宅リハビリテーション病院
- セントラルパーククリニック
- 健康増進施設サラマンダー
- ケアプランセンターみやけ
- 訪問看護ステーションみやけ
- M M I パーキング

<https://www.miyake.or.jp>

